

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用			
	性・年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置			
1	男 60代	高血圧 (なし)	2mg 19日間	<p>中毒性表皮壊死融解症 投与約10年前より高血圧。</p> <p>投与約22ヶ月前 心筋梗塞にて心肺停止となるも蘇生しペースメーカー設置。 投与開始日 本剤処方を追加。 投与17日目 40℃台の発熱，眼のそう痒出現。 投与18日目 夜には口腔粘膜びらんを自覚。 投与19日目 体幹に小紅斑出現，急速に増加。 (投与中止日) 早朝にA病院救急部を受診し，皮膚科診療を経て，B病院へ救急搬送。粘膜病変と全身20%の皮膚病変あり，ステロイドパルス開始。肝障害，腎障害あり。</p> <p>中止2日後 皮膚症状は急速に拡大。(全身の90%) 中止3日後 血漿交換療法とプレドニゾンコハク酸エステルナトリウム換算1mg/kg点滴，角膜びらんあり。(中止4日後まで) 中止4日後 血漿交換中に血圧<70までの低下あり中止。 中止5日後 大量γグロブリン療法+プレドニゾンコハク酸エステルナトリウム換算1mg/kg点滴行うも，多臓器不全進行。(中止9日後まで) 中止10日後 死亡。</p> <p><リンパ球刺激試験(DLST)結果> 実施日：中止5日後 結果：測定値 310cpm, 陽性率 90% (正常値陽性率 179%) (参照結果) 陰性コントロール 341cpm 陽性コントロール (PHA) 4,760cpm</p>			
臨床検査値							
		検査項目	投与 約20ヶ月前	投与 19日目	中止 3日後	中止 6日後	中止 7日後
		白血球	3.8	10.9	3.0	10.8	12.1
		AST (GOT)	36	392	344	537	1,119
		ALT (GPT)	24	250	306	307	662
		尿素窒素	9.2	29.7	71.3	138.9	157.2
		クレアチニン	0.73	1.60	2.34	10.57	14.63
		CRP	0.24	9.20	5.83	10.67	7.92
		体温	—	40.7	—	—	38.1
併用薬：アスピリン・ランソプラゾール配合剤，イルベサルタン・アムロジピンベシル酸塩配合剤，ビソプロロール フマル酸塩							